

予算に対する各会派の要望・意見

日本共産党藤沢市議会議員団は、平成29年度一般会計予算ほか6特別会計予算案に反対し、市民派クラブは一般会計予算及び北部第二(三地区)土地区画整理事業費特別会計予算案について反対し、その他の会派は全予算案に賛成しました。
ここでは、予算に対する各会派の要望・意見の要旨をお知らせいたします。

健康寿命日本一 目標の市民周知を 市民クラブ 藤沢 8人

①今後の財政見直しを踏まえ、総人件費の削減の観点から市政課題に即した適正な定数管理を行い、地域福祉課題解決に取り組みこと。②自治会・町内会やNPO等の市民活動団体との住民協働の考え方を整理し、市民活動助成事業は人的基盤の強化につながる制度への転換を。③路上喫煙禁止区域

教科書採択の方針 公平性の確保を 民主クラブ 7人

①指定管理者制度のもと、市の出資団体が多くの公共施設の管理を担っているが、管理期間によって団体職員の雇用に大きな影響を与えることから制度の見直しを図るとともに、制度による出資団体の経費削減については人件費への影響やこれまで

空き家の利活用 民間団体と連携を ふじさわ新公会 7人

①現新館の庁舎整備に当たり、分散している行政機能や外郭団体を積極的に集約し、再構築を図ること。②本市の強みと弱みを把握するため、転入者及び転出者へのアンケート調査を実施すること。③市民センター再整備などの建設工事は市内企業

中学生の医療費助成 スピード感で取組を 藤沢市公明党 6人

①財務状況及びコスト情報の詳細を開示し、行政運営の見える化を図り、公会計改革を進めること。②災害時における避難行動要支援者への迅速な初期対応につながる情報システムの構築を。③オリピック・パラリンピックを契機に日本の地域文化を発信するため、国の認証を受けられるような文化の創出について市と市民が協働して取り組むこと。④小児医療費助成について、中学生の医療

大型開発事業 抜本的な見直しを 日本共産党藤沢市議会議員団 4人

①市として原発ゼロを宣言し再稼働への反対を表明するとともに、エネルギーの地産地消を推進すること。②藤沢型地域包括ケアシステムは、13地区の拠点への人員配置を十分に行い、市民の目線で充実したサービスとなるよう取り組むこと。③介護保険事業は、保険料と利用料を引き下げ、特別養護老人ホームの待機者解消に全力を挙げるべき。④就学援助費は、小中学校の入学時に活用できるよう前倒しで支給すること。⑤待機児童解消のため、認可保育園の建設を急ぐこと。⑥中学校卒業までの子どもの医療費無料化を、所得制限や

防球ネット転倒事故 再発防止策見直しを 市民派クラブ 1人

①学校における防球ネット転倒事故のような命にかかわる危険性を放置せず、本質的な問題を明らかにして対処に必要な予算措置をすること。②全

感震ブレイカー 積極的な普及を 無所属クラブ 3人

①職員の持ち家に関わる住居手当は、現在の給与の総合的見直し期間中に確実に廃止すること。②感震ブレイカーの設置補助制度の研究を。③民間施設等にも対応可能な落書きに対するスキームの構築を。④オリピック開催に伴うサービス等の事業関係者との連絡調整プラットフォーム構築に当たり、ソフト面及びハード面の両事業の情報が一元的に集約されるよう取り組むこと。⑤健康寿命を延ばすに当たり、フレイル(※1)予防と認

(※1)フレイル…年齢に伴い、筋力や心身の活力が低下した状態のこと。
(※2)バリューエンジニアリング…さまざまな知恵を結集し、使用者優先の立場で機能とコストの面からサービス向上を図る考え方。